

# 学童保育を支える 指導員の仕事

編集部

子どもにとって学童保育は、安心して

て過ごせる充実した生活の場であるこ

とが大切です。学童保育がその役割を

果たすことができるよう、学童保育指

導員（以下、指導員）は、以下のように

にさまざまな仕事を担っています。

■子どもが安全に安心して過ごせる生

活を守る。

■放課後や学校休業中の生活を過ごす

ために必要とされる基本的な生活内

容をつくる（休息やおやつ提供な

ども含む）。

■子ども一人ひとりと、子どもたちの

生活内容を豊かにするための継続的

な働きかけを行う。

■楽しく遊べる環境の整備と、援助を

行う。

■保育内容を記録する。

■保育内容に関する情報の共有のため

の会議や打ちあわせを行う。

■連絡帳やおたより、保護者会・父

母会などを通じて子どもの様子を

保護者に伝える。

子どもが自ら進んで学童保育に通い

つづけることを支えるうえで、家庭

と学童保育の連携が欠かせません。学

童保育での生活や、子ども一人ひとり

や子どもたちの様子を、指導員の関わ

りや思いを交えながら、各家庭にてい

ねいに日常的に伝えることは、指導員

の大切な仕事です。

また、指導員は子どもと保護者に直



接関わる仕事とともに、学童保育を円滑に運営するために必要な仕事も担っています。おおまかには、つぎのよう

なものがあげられます。

◇子どもの安全確保と環境整備

◇施設・設備・備品の管理

◇地域・学校や地域の関係機関との連

絡・調整

◇保育に関する事務作業

◇金銭管理（おやつ代、各種行事費な

ど）や書類整理

そして、これらの仕事をより充実さ

せるために、事例検討や学習・研修を

行うのは大切なことです。



\* \* \*

二〇二〇年春、「新型コロナウイルス感染症」への対応に関わって、国は、学童保育は保育所と同様に社会活動・経済活動を支える必要不可欠な事業であるとして、その役割を果たすことを求めました。

編集部にも、学童保育関係者の方々から、「あらためて学童保育の役割を実感した」「指導員という仕事の重要性を自覚した」「指導員の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです」などの声が寄せられています。

しかし同時に、多くの学童保育が「施設・設備に不十分さがある」「安全に安心して過ごせる子ども集団の規模が、必ずしも守られていない」「子どもを受け入れるために必要な準備時間が勤務時間として認められていない」「継続的に安定的な勤務が確保されていない現場がある」「賃金や社会保障など、

待遇が不十分な現状があることから、

指導員が継続して働きつづけることが困難だったり、慢性的な人手不足の現状が生まれている」などの困難に直面しており、国や自治体の学童保育施策も脆弱であることが、コロナ禍であらためて浮き彫りになりました。

\* \* \*

全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）は、学童保育の目的・役割を果たすためには、指導員に関わる以下の諸条件が整えられる必要があると考え、これらが総合的に解決されることを要望しています。

■ 児童期の子どもの安全と安心できる生活を継続して守るためには、指導員に、専門的な知識と技能が必要であることについて、社会的合意がはかられること。

■ 子どもとの安定的な関わりが継続できるよう、指導員の長期的に安定し

た雇用が確保されること。

■ 勤務時間に、保育時間前後に必要な準備時間が設けられること。

■ 専任の指導員が常時複数配置され、安全面に配慮して円滑な運営を行えるようにすること。

■ 指導員が力量を向上させていくことができるように研修の機会が保障されること。

\* \* \*

今回の特集では、現場での指導員の仕事の実際や、それについての指導員の思い、保護者の願いを紹介していただきます。

あわせて、本誌のバックナンバー、全国連協発行の『改訂テキスト 学童保育指導員の仕事【増補版】』『私たちが求める学童保育の設置・運営基準（改訂版）／学童保育の保育指針（案）改訂版』なども、ぜひ学習などにご活用ください。

つづきは本誌をくらんでください